

令和 5 年度

自己評価書・学校関係者評価書

評価対象期間 自：令和 4 年 4 月 1 日

至：令和 5 年 3 月 31 日

令和 6 年 5 月 15 日

東京愛犬専門学校

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人東京愛犬学園
東京愛犬専門学校
学校関係者評価委員会

1・開催日時

令和6年5月15日～令和6年6月14日

諸事情により学校関係者評価委員会の開催ができなかったため、各学校関係者評価委員に、書類を郵送し評価を依頼した。

2・学校関係者評価委員

- ・ 業界関連企業 動物病院院長
- ・ 業界関連企業 会社役員
- ・ 業界関連企業 会社役員
- ・ 卒業生 ペットサロンオーナー

3・評価方法について

東京愛犬専門学校が行なった自己評価結果について「適切」「どちらともいえない」「不適切」のいずれかの評価を行い、①現状、②課題、③今後の改善策についての意見を記入した。

(④)

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1

① 現状

・学校法人窪田理容美容専門学校の姉妹校として 1970 年 10 月 15 日に東京都中野区で開校した。本学の建学の精神は「トリマー・動物看護師としての専門の理論と技術を授け、動物業界の発展に寄与できる心身とも健全な社会人を育成すること」にあり、変化激しい現代社会に即応するために、国際的な視野から創造力を学び、自主性の確立に努力することを重点とする」とし、校訓として「忍耐・創造・独立」を掲げている。忍耐とは継続し、努力し、技を生む力。創造は創造美をつくる、感性を磨く思い。独立は自立できる人間になる思いをその校訓に含め、専門校として動物分野の養成校の目的・責務を普遍的に果たすことを示している。2005 年に専修学校として東京都知事から認可を受けた後も、その精神を受け継いでいる。また現在では「人間と動物との共生」を基本理念に置き、人とペット双方に幸せを与え、職業教育の垣根を越えた社会貢献のできる社会人育成を目的にしている。

・2017 年には、長年の動物教育の成果が認められ東京都より教育功労者の表彰を受けている。

・学校案内書や学校ホームページなどに教育理念・目標を掲げることで、学生・保護者等に周知している。また、資格取得・就職指導・普遍的講師陣など本校の特色を前面に打ち出すことにより、他校との差別化を図っている。

・学校見学やオープンキャンパス、入学式には多くの学生が保護者同伴で出席しており、関心度の高さがうかがえる。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適 切 2・どちらともいえない 2・ 不適切 】

・保護者だけの会を作り、色々と 1 年生の時から就職先の話をした方がいい。

・愛犬学園の教育理念・目標を広く周知していただくとしていた昨年度の課題は達成できているか。しっかりとした教育理念・目標のもとに愛犬学園の実績、信頼が築き上げられていることは疑う余地がないところから、昨年度の課題は達成するまで残してほしいのもである。

・建学の精神が教育現場、学生、保護者に周知している。

・教育理念・目標の周知はしているものの、学生自身が強く意識して学校生活を送ることが大切であり、そうさせることが課題になるのではないのでしょうか。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 現状

- ・毎年3月に開催される理事会において、学校運営に支障なきよう適切な予算が組まれ、承認されている。また、同日に行われる評議員会において学内外の意見を広く聴取し、学校運営・予算等に反映されるよう努めている。
- ・職員に関する規定については就業規則・給与規定・旅費規程・退職手当規定等により整備されている。
- ・法令を順守し業界や地域社会と連携して環境向上を図っている。通学時の喫煙、飲食、その他のマナーについて厳しく指導を行っている。登校時においては挨拶の励行、服装・頭髮の指導をし、近隣住民に不快感を与えないよう心掛けている。
- ・公式ホームページにおいて「事業報告書」「財務状況」「授業計画書(シラバス)」「教務関連資料」「高等教育就学支援に関する資料」などを公開している
- ・学生管理システム「キャンパス手帳」を導入し出欠席、成績、小テスト、学生への連絡等の管理

がシステム化し、業務の効率化が図られた。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切 4・どちらともいえない・ 不適切 】

- ・理事会の若返りをした方がいい。
- ・シラバスなどの導入は大変評価の高いもので、ぜひ学習効果の向上に役立てて欲しい。
シラバスと学習ノートを組み合わせたものが効果が期待できるもののひとつであると考えられる。
- ・学校運営は収支のバランスに努めている。学生管理システムを効率的に運用して学生のフォローが出来ている。
- ・問題はないように感じます。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか	4 3 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を取得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

①現状

- ・全学科共に、年間カリキュラムに沿った講義、実習共に基礎知識、基礎技術の習得を行っている。
関連分野における優秀な講師陣により、各分野での専門知識を持ったプロフェッショナルを目指すよう教育を行っている。
- ・新設されたトレーナーコースにおいては、実践しながらに犬の社会化を目指した、「犬の幼稚園」を校内で実施している。
- ・グルーマーコースでは、豊富な実習の他、トリミング犬種の基礎知識も強化して指導している。
- ・動物看護学科においては、国家資格の愛玩動物看護師、資格取得を目指し、認定されたカリキュラムに沿った教育と、現場でニーズの多いトリミング技術習得、ライセンス取得の強化をしている。

る。

- ・ 社会に出て必要なコミュニケーション能力を強化する為に、ビジネスマナー講習を行ったり、ホームルームで挨拶の練習を日常化し指導している。

②課題

職員（教員）のレベルアップ。

技術指導において、実践力がつく教育を充実させる。

業界をリードして行けるような人材を育成する。

コミュニケーション能力のより向上を目指す。

③今後の改善策

ライセンス取得の為だけではなく最新の技術も取り入れ、専門分野については、知識、技術をより掘り下げ学んで行けるような授業が行えるようにする。

④学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切 2・どちらともいえない 1・ 不適切 1 】

- ・ 特に動物看護学科は最新の技術（学術）のために企業に来てもらい、授業をしてもらうことが必要。
- ・ (2) 学校運営で導入の報告のあったシラバスにぜひ教育活動を組み入れ、総合養育の指針としてほしい。
- ・ 業界が欲している人材育成のカリキュラムを実施している。職員などもカリキュラム実現に努力をしている。
- ・ 改善策をすぐにでも実行できると良い。

(4) 学習成果

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1

① 現状

- ・就職率は専門学校としては最も評価される課題であり、早い時期より学生に意識を持たせることが重要である。

本校では1年生の3月より就職活動プランに基づき「接遇マナー」「就職ガイダンス」「企業説明会」等、毎月目的を明確にした指導を実施。担任および就職担当者を交え、学んだ技術を活かした職場への就職率100%を目指す。

- ・資格取得に関しては、資格取得のみを目的とするのではなく、JKC 公認トリマー「指定機関」として充実した授業内容でしっかりした技術を学ばせ、他校との差別化を図り、高い資格を取得させている。

また愛玩動物看護学科の学生も国家資格のみでなく、トリマーの資格も取得させ「メディカルグルーミング」ができる人材養成をしている。

- ・「キャンパス手帳」を使い、日々の出席状況、成績管理をしている。休みがちな学生に関しては早い段階で警告指導、成績不振の学生には追試を受けさせ、勉強の遅れによる学習意欲の低下を防いでいる。

また、状況把握を共有するため保護者とも緊密な連絡を取り、退学者が減少するよう努力している。

- ・在校生に関しては4月に実施される「JKC トリミング競技会」に向け、日々の実習を充実させている。本選出場決定者に対しては特別授業を実施し、より一層技術向上を図らせ、優勝を目指す教育をしている。

卒業生に関しては同窓会を通じ現状の把握および講習会を実施し技術向上に貢献している。

② 課題

- ・入学時より「目標達成シート」を作成させることにより、目標を達成するためには今後どのようなことをしていかなければならないのか？等を考え、それに従って行動することにより学ぶ態度や実習に取り組む姿勢が大きく変わってくると思います。

2年間はアツという間に過ぎます、在籍期間に目標を1つ1つ達成していけば退学者も減少し、

早い時期より就職活動することにより就職率もアップするのではないかと考えております。

③ 今後の改善策

- ・「課題」に記載させていただきました内容を実施すれば、退学率および就職率の改善に繋がるのではないのでしょうか。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切 3・どちらともいえない・ 不適切 1 】

- ・ HP や FB などに国家資格合格率を、トリマー、AHT など記載する。
- ・ 就職率の向上は専門学校の必須事項であり、また卒業率も専門学校評価の大きな事項である。就職に関しては歴史と実績をもとに高い評価を得ていると思われる。一方、卒業率においても他校に引けを取るものではないと評価できる。より高い就職率、卒業率を実現するため、授業に遅れ気味の学生に対して、放課後、休日を利用した補講などを施されることを望む。
- ・ 本校卒業生は業界より高い評価を得ており、入学時より卒業まで必要なマナーや知識、技術を習得させている。
- ・ 卒業生の声をもっと伝えることで、就職への意識も高まり、現実味を帯びると思います。

(5) 学習支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 3 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 2 1

① 現状

○就職担当の専任職員を置き、クラス担任と連携しながら学生の就職指導にあたっている。総合学習の位置づけで接遇マナー講座、業界説明会、就活ルール、企業説明会等を教員と連携して行っている。

○学生生活の悩みや家庭の悩みなどについては学生の声に極力耳を傾け、相談に応じている。

○奨学金は多種多様な制度があり、年間に数回説明会を実施している。また、奨学金担当者が個々の学生への指導も行っている。

○全学生に健康診断を行っている。学生団体保険に加入をして、就学中のみならず通学途中、インターンシップ、企業実習中の事故にも対応している。

○事案が発生した際には保護者に連絡をし、電話相談や学校での面談も行っている。

○同窓会を毎年開催し技術研修会や業界セミナーなどを行っている。卒業生との懇談で近況を報告してもらっている。

○高等学校での進路ガイダンスや職業説明会、体験授業などを通じてキャリア教育、職業教育への理解を深めるよう努めている。高校生の職業意識や専門学校への進学目的意識の向上に努めている。

○出席システムを導入した結果、学生自身が自ら出席率を把握し、生活習慣も含めた自己管理を行うことができるようになった。

② 課題

○学生の社会性、職業意識の低下に対する教育が入学時から必要。

指導も必要。企業の求人情報やエントリー、企業からの連絡・通知はインターネットを通じて行うことも多くなり、パソコン、スマホのネット環境の整備とネットリテラシー教育の必要性。

○学生指導体制の強化。環境の整備。

○専門性に特化した分野であるから、リカレント教育など社会人のニーズの把握。

③ 今後の改善策

○就職活動での求人票の閲覧、エントリー、報告、などインターネット環境を利用し活動や、指導ができるように整備する。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切 4・どちらともいえない・ 不適切 】

- ・学生のことはよくわからないけど、教員の教育指導をしっかりと行う。
- ・学習支援に関しても高く評価できるものと考えている。さらなる支援として、社会人としての素養を高めるため、基礎学力向上プログラム等の導入にぜひ力を注いでほしい。
- ・学生生活の変化に対応できるように十分な Wi-Fi 環境整備も必要。
- ・課題解決に努めてほしい。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

① 現状

- ・専修学校設置基準及び関係法令の基準に適合した施設・設備等を備えている。教育上必要な実習室、普通教室、図書室など学習支援のための施設を整備し有効活用している。
- ・教育上必要な機器、備品、図書等については、私立専修学校教育環境整備助成金等を利用し、年間予算を策定しながら計画的に導入している。
- ・インターンシップについては、受け入れ先企業と連携し愛犬総合学科・動物看護学科ともに毎年実施している。受け入れ先企業への就職内定の割合も少なくなく、就職後の企業と学生とのミスマッチ改善にもつながっている。
- ・コロナ禍が終息を迎え、研修旅行や課外学習も以前と同じように実施できるようになった。海外研修旅行については、昨今の経済状況等を鑑み実施は考えていない。
- ・毎年、東中野消防署の指導により防災訓練を実施しており、職員・学生ともに防災についての意識は高い。また、全職員・在校生の防災備蓄品を保管している。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適 切 3・どちらともいえない 1・ 不適切 】

- ・立地、交通環境においては文句なしの好条件と思われる。また施設・設備に関しても教育上必要なものは完備されており、教育上よい環境にある。今後は、幅広く広がる卒業生、在校生、教職員の交流の場として同窓会館、学生会館などの設置が望まれる。
- ・教育環境は現状の規模では適切である。
- ・大きな課題はないが、学生のためにもより良い環境が提供できるよう努めてほしい。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①現状

近年出願時期が早くなり、少子化で学生の取り合いとなっております。昨年度より実施されています総合型選抜をアピールし早い時期での入学者獲得をする必要がある。

まずは体験入学に来校いただくことが重要で、高校内で実施されるガイダンスおよび学校見学者に対し、積極的に誘導し参加者を増やすことが大切である。

体験入学では生徒とのコミュニケーションも大切であるが、将来に繋がる資格取得および就職率で他校との差別化を明確にすることで入学率アップを図る。

また、今年度より実施される「東京愛犬学園特待生制度」も学生募集においては魅力的である。昨年度の体験入学からの入学者は参加者 211 名中 111 名で 52.5%。参加者を増やすことも重要であるが、体験入学の内容を充実させることにより入学率を 60%に上げるだけでもほぼ定員となります。

②課題

動物系専門学校が増える中、本校の存在が薄れてきており大きく学生募集に影響が出ている。

近年の学生は華やかな学校、楽しいそうな学校に目を向ける傾向で、宣伝上手な学校へ学生を取られてしまっている。

まずは本校の最大の魅力である資格取得、大手就職率のよさを強く前面に打ち出し、他校との差別化を明確にすることにより学生獲得する必要がある。

③今後の改善策

以前のように高校内で開催されるガイダンスも重要であるが、人手不足の問題もありすべての高校へ参加できないのが現状である。体験入学のアンケートを見ると本校を知ったきっかけは、進学情報サイト、本校の HP が多く、最近ではネットや SNS 等を利用し学校検索をしている学生が多い。

今年度よりネット関連を強化しており、今後も継続していきたい。

また、資料請求者等データが有効活用されていない為、利用方法を検討していく必要がある。

④学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切 4 ・ 不適切 】

- ・ 少子化の歯止めがかからない現況において、現在まで行われてきた拡張型募集（大学、短期大学等に倣う募集。推薦入学、指定校、自己推薦、一芸一能募集）から集中型募集（適材募集）

への移行を期待する。真剣に志望する学生へのインターン入学（入学前、年間を通して休日などでトリミングなど実践を学んでいき、確実な入学を促すなど）の導入を期待する。また、優秀で目的意識のしっかりとした留学生の積極受け入れも検討する段階にきていると考えられる。

- ・少ない人材で効率よい学生募集活動を行ない定員を確保している。

（８）財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
財務について会計検査が適正に行われているか	4 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

① 現状

平成 17 年に専修学校認可を受けて以来、学校の財務状況は常に安定している。また、本来専修学校に順守義務はないが、学校法人会計基準に従い会計処理を行い貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成している。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適 切 4・どちらともいえない・ 不適切 】

- ・自己評価にもあるよう、財務状況は健全であると思われる。この状況を維持、向上を持続するため、安定した学生募集に期待する。
- ・会計部門の方への努力に敬意を表しています。
- ・ネットや SNS での発信の仕方・内容の精査が必要ではあるものの、オフラインも重要になると思うので、人手不足の改善も必要。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

① 現状

・本学は、法令及び専修学校設置基準を順守し適正な運営に努めている。具体的には、校地・校舎、理事会・評議員会の定期的な開催、年間授業時数、毎年の健康診断、J R 東日本への学校指定の申請、監督官庁への各種届出、各種資格認定団体への届出、勤労学生控除、教員の採用・解職、文書管理保存規定、個人情報保護法令などである。

・個人情報の保護に関しては、すべてのコンピュータにウイルス対策ソフトを導入し、書類は保管庫の施錠を徹底。また、文書類を破棄する場合はシュレッダーにかけて処分することを徹底している。

・学生の写真、動画、情報等について公開する場合、必ず本人及び保護者の同意を得ている。

・毎年、自己評価、学校関係者評価の実施を行い HP 上で公開している。

② 課題

特になし。

③ 今後の改善策

特になし

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適 切 3・どちらともいえない 1・ 不適切 】

・自己評価にあるよう、法令等の遵守に関して問題は見出すことはできない。

・各種法令順守に努めていると思います。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

① 現状

- ・毎年春に行われるF C I インターナショナルドッグショーにおいては、学生、教職員全員で参加をし、ペットの相談コーナーなどにおいて、一般の方との交流を深め、職業に対する理解を深めるよう努めている。
- ・初夏に2年生を対象にセミナーを開催し、動物保護ボランティア活動の奨励をしている。

② 課題

- ・学生の中には自発的にボランティア活動に参加するものもいるが、学校を通しての活動の機会は少ない。

③ 今後の改善策

- ・学校を通じてボランティアに携わる機会が増えるよう、方法を模索しているが現状の仕事が手一杯で着手できずにいる。

④ 学校関係者評価委員からの評価・意見【 適切4 ・ 不適切 】

- ・動物に対してのボランティアに賛成です。
- ・ドッグショーなどへの積極参加などは評価できるが、地域に密着した教育機関であるために地域社会貢献にもっと力を注ぐべきである。地域の祭り、催し物にも学園を挙げて参加し、地域の顔となるべく努力を望む。
- ・参加できる行事を通して、学生が社会の一員であることを経験させています。
- ・世の中に色々な活動があることを知るきっかけにもなるので、積極的に学校として参加してほしい。